

不適正な開票事務に係る再発防止のための提言

= 資 料 =

- 1 再発防止委員会設置までの青葉区開票所における不適正集計の経緯
- 2 過去に執行された選挙の執行状況調査結果の概要
- 3 職員アンケート
 - (1) 職員アンケート様式
 - (2) 職員アンケート集計結果
- 4 投票立会人アンケート
 - (1) 投票立会人アンケート様式
 - (2) 投票立会人アンケート集計結果
- 5 再発防止委員会開催日と提出資料
- 6 再発防止委員会設置要綱

1 再発防止委員会設置までの青葉区開票所における不適正集計の経緯

平成 26 年

- 12 月 15 日 青葉区選挙管理委員会が報道機関から小選挙区選出選挙投票者数より比例代表選出選挙の投票者数が 989 人少ないことの原因を問われる。
- 12 月 17 日 仙台市選挙管理委員会が青葉区選挙管理委員会に比例代表選出選挙の執行状況について調査するよう指示する。
- 12 月 25 日 青葉区選挙管理委員会から仙台市選挙管理委員会に小選挙区選出選挙において白票水増し操作が行われたとの報告がなされ、翌 26 日、仙台市選挙管理委員会及び青葉区選挙管理委員会からこの旨の記者発表がなされる。

平成 27 年

- 1 月 2 日 青葉区選挙管理委員会事務局長から国民審査についても疑義があるとの指摘があり、
- 1 月 3 日 仙台市選挙管理委員会事務局及び青葉区選挙管理委員会事務局職員が関係書類を調査の結果、審査に係る最高裁判所裁判官全員を信任する白票の数に水増し操作が行われたことが判明する。
- 1 月 6 日 国民審査の白票操作について仙台市選挙管理委員会及び青葉区選挙管理委員会から記者発表する。
- 1 月 8 日 青葉区開票所の不適正集計について仙台市議会全員協議会が開催される
- 1 月 13 日 青葉区選挙管理委員会事務局長が 12 月 17 日には小選挙区選挙における二重集計のミスについて承知していたことを区役所上司に報告する。
- 1 月 16 日 青葉区選挙管理委員会事務局長の二重集計認識の時期等について及び仙台市選挙管理委員会が再発防止策検討のための第三者委員会設置することを仙台市及び仙台市選挙管理委員会から記者発表する。
- 1 月 19 日 仙台市長が青葉区開票所の不適切集計について、公職選挙法違反等により宮城県警察に告発する。
- 1 月 20 日 第 2 回仙台市議会全員協議会開催
- 2 月 2 日 仙台市選挙管理委員会が過去 10 年間の選挙について、執行状況調査結果を記者発表する。
- 2 月 4 日 第 1 回仙台市選挙事務不適正処理再発防止委員会開催

2 過去に執行された選挙の執行状況調査結果の概要

(1) 対象の選挙

平成16年から平成25年までに執行された選挙

(2) 調査の方法

投票管理者及び開票管理者が作成する投票録、開票録及びこの書類作成のもととなった計算書、投票集計表等の点検、照合により、次の6項目により選挙を執行した各区選挙管理委員会が調査した。

- ① 投票録及び計算書の点検
- ② 投票録の再集計と開票録及び点検結果報告書との照合
- ③ 投票集計表の点検
- ④ 投票総数集計表と開票録及び点検結果報告書との照合
- ⑤ 選挙結果調べの数値との照合
- ⑥ 国政選挙などの複数票選挙における確定投票者数等の基本事項の照合

(3) 調査結果の概要

① 調査の可否

別表のとおり

② 判明した誤り

i **宮城野区** 第21回最高裁判所裁判官国民審査 (H21.8.30 執行)

第3投票所の投票録において、投票者数の女2,784と記入すべきところを女2,984と誤記載されていたため、投票者数を実際より200人多い89,991人で集計してしまったが正しくは89,791人であったことが判明した。

また、このことにより、投票者数89,991人と投票総数89,654票の差の337票分を持ち帰り票等としていたが、実際は、投票者数89,791人と投票総数89,654票の差である137票が持ち帰り票等であったと推測される。

ii **若林区** 第46回衆議院総選挙 (H24.12.16 執行) (小選挙区、比例代表)

期日前投票の投票者数について、開票録と期日前投票システムより出力した集計表の数に相違があった。期日前投票システムより出力した集計表と照合した結果、当該集計表上で内数である点字投票女1について外数として誤った認識をした可能性がある。その結果開票録において女1名を6,173名に足し上げてしまい、女6,174人として計上してしまったと推測される。

投票者数は小選挙区が誤55,222が正55,221に、比例代表が誤55,217が正55,216となり、持ち帰り票は小選挙区が誤11が正10に、比例代表が誤23が正22となるべきであった。

iii **青葉区** 第22回最高裁判所裁判官国民審査 (H24.12.16 執行)

投票集計表の点検の結果、裁判官全員の罷免を可とする投票186票の集計が漏れていた。集計誤りのまま開票録及び点検結果報告書を作成しており、実際には裁判官全員の罷免を可とする投票が186票増え、442票となっている持ち帰り票は、256票となるべきであった。

別 表

【凡例】◎：6項目すべて調査できたもの。

○：6項目のうち一部調査できなかったもの。

－：保存年限超過のため調査できなかったもの。

選挙名		選挙期日	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区
第20回参議院通常選挙		H16.7.11	○	－	－	－	－
衆議院第2区補欠選挙		H17.4.24	選挙なし	－	－	選挙なし	－
市長選挙		H17.7.31	○	－	－	○	－
第44回衆議院総選挙	衆院選	H17.9.11	○	－	－	○	－
	国民審査		○	※	※	○	※
知事選挙		H17.10.23	○	－	－	○	－
県議会議員補欠選挙		H17.10.23	○	－	選挙なし	選挙なし	－
市議会議員一般選挙		H19.4.8	○	－	－	◎	◎
県議会議員一般選挙		H19.4.8	○	－	－	◎	◎
第21回参議院通常選挙		H19.7.29	○	－	－	○	◎
市長選挙		H21.7.26	○	◎	○	◎	◎
第45回衆議院総選挙	衆院選	H21.8.30	○	◎	－	◎	◎
	国民審査		◎	◎	※	◎	◎
知事選挙		H21.10.25	○	◎	○	○	◎
第22回参議院通常選挙		H22.7.11	○	◎	○	◎	○
市議会議員一般選挙		H23.8.28	○	◎	○	○	◎
県議会議員一般選挙		H23.11.13	○	◎	○	◎	◎
第46回衆議院総選挙	衆院選	H24.12.16	○	◎	○	◎	◎
	国民審査		◎	◎	○	◎	◎
第23回参議院通常選挙		H25.7.21	◎	◎	○	◎	◎
市長選挙		H25.8.11	◎	◎	○	◎	◎
知事選挙		H25.10.27	○	◎	○	○	◎

太枠内の選挙については、投票録、開票録の保存年限（任期期間）を経過していないもの。

国民審査の投票録、開票録の保存年限は10年。

表中、「※」については、同時に行われた衆院選の書類廃棄時に誤って廃棄してしまったもの。

3 職員アンケート

(1) 職員アンケート様式

仙台市開票事務従事者アンケート

2015年3月

仙台市選挙事務不適正処理再発防止委員会

本調査は、仙台市選挙事務不適正処理再発防止委員会の検討資料作成のために行うものであり、開票事務の一面を明らかにするものです。回答にあたっては、次の点にご留意ください。

- ・調査は基本的に○付け方式です。指示に従い該当するものに○を付けてください。
- ・本調査は、第47回衆議院総選挙（2014年12月14日投開票）の開票事務（各区選管）に従事した仙台市職員を対象に実施します。
- ・回答は個人が特定されないよう取り扱います。
- ・回答は必ず「無記名」をお願いいたします。
- ・本調査の集計結果は、原則、公開となります。
- ・本アンケートは、**3月13日(金)までに、従事した区の選管事務局に、庁内メール便で提出願います。**

ここからが質問です。

1 あなたが開票事務に初めて携わったのは、震災発災（2011年3月）以前ですか。該当するもの1つに○をつけてください。

1. はい 2. いいえ 3. 記憶が定かではない

2 「開票事務は知識・経験がないと難しい」という意見がありますが、実際に経験して、どうお思いですか。該当するもの1つに○をつけてください。

1. そう思う 4. その通りではない
2. どちらかと言えばそう思う 5. わからない
3. どちらかと言えばそうは思わない

3 開票事務の説明会等が行われていると思いますが、これまで経験した説明会等を振り返って十分な内容だったと思いますか。該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 十分な内容だった | 4. 十分な内容ではなかった |
| 2. どちらかと言えば十分な内容だった | 5. わからない |
| 3. どちらかと言えば十分な内容ではなかった | |

4 開票事務の説明会等が行われていると思いますが、これまで経験した説明会等を振り返って、説明会等の時間は十分とられていたと思いますか。該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 十分にとられていた | 4. 十分にとられてはいなかった |
| 2. どちらかと言えば十分にとられていた | 5. わからない |
| 3. どちらかと言えば十分にとられてはいなかった | |

5 「市選管と区選管の一体感が欠けているのではないか」という指摘がありますが、あなたはどう思われますか。該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. そう思う | 4. その通りではない |
| 2. どちらかと言えばそう思う | 5. わからない |
| 3. どちらかと言えばそうは思わない | |

6 「トラブルが生じたときに参考とする全市統一的なマニュアルがあった方がよい」と思われますか。該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. あった方がよい | 4. 不要 |
| 2. どちらかと言えばあった方がよい | 5. わからない |
| 3. なくてもよい | |

7 今回、選挙事務に携わって、「開票作業は早く終わらせなければならない」というプレッシャーをあなたは感じましたか。該当するもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|--------|-------------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. なんとも言えない |
|-------|--------|-------------|

8 昨今、開票時間のスピードを一分一秒単位で競うことを奨励する風潮がありますが、そうした動きに対し、現場に携わる者としてどうお感じですか。該当するもの1つに○をつけてください。

1. あくまでも正確性が優先されるべきで、開票時間を競うことは無意味である
2. あくまでも正確性が優先されるべきであるが、開票時間を競うことは有意義である
3. 選挙の執行費用の削減の観点からもっと奨励されるべきである
4. 選挙の執行費用の削減の観点から考えると致し方ない
5. その他 ()
6. わからない

9 「開票時間を競う風潮が、高松や仙台での事件の主たる原因ではないか」という見方がありますが、あなたはどのようにお感じですか。該当するもの1つに○をつけてください。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそうは思わない
4. その通りではない
5. わからない

10 「開票ミスを生じるリスクを減らすため、翌日開票にすべき」という意見に賛成ですか。該当するもの1つに○をつけてください。

1. 賛成
2. どちらかと言えば賛成
3. どちらかと言えば反対
4. 反対
5. その他 ()
6. わからない

11 「職員に負担がかかっているため、開票事務に携わる人員の増員をした方がよい」という意見に賛成ですか。該当するもの1つに○をつけてください。

1. 賛成
2. どちらかと言えば賛成
3. どちらかと言えば反対
4. 反対
5. その他 ()
6. わからない

12 「選挙管理は、派遣やアルバイトを使わず、正規の自治体職員のみで対応すべき」という意見に賛成ですか。該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 賛成 | 4. 反対 |
| 2. どちらかと言えば賛成 | 5. その他（ ） |
| 3. どちらかと言えば反対 | 6. わからない |

13 「現在の仙台市の人事では、開票のノウハウを継承することに支障が出ている」という見方がありますが、あなたはどう思われますか。該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. そう思う | 4. その通りではない |
| 2. どちらかと言えばそう思う | 5. わからない |
| 3. どちらかと言えばそうは思わない | |

14 （期日前投票事務に従事した方のみお答えください）

「期日前投票事務が導入され、通常業務に弊害が出ている」という声を、あなたの周囲で聞いたことがありますか。該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

質問は以上です。質問にお答えいただき、ありがとうございました。

3 職員アンケート
 (2) 職員アンケート集計結果

仙台市開票事務従事者アンケート集計結果
 2015年3月

仙台市選挙事務不適正処理再発防止委員会

区

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 宮城野区	102	19.0	19.0	19.0
若林区	66	12.3	12.3	31.3
青葉区	154	28.7	28.7	60.0
泉区	105	19.6	19.6	79.5
太白区	110	20.5	20.5	100.0
合計	537	100.0	100.0	

1 あなたが開票事務に初めて携わったのは、震災発災(2011年3月)以前ですか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1. はい	358	66.7	66.7	66.7
2. いいえ	174	32.4	32.4	99.1
3. 記憶が定かではない	4	.7	.7	99.8
99. 非該当・無回答	1	.2	.2	100.0
合計	537	100.0	100.0	

2 「開票事務は知識・経験がないと難しい」という意見がありますが、実際に経験して、どうお思いですか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 1. そう思う	116	21.6	21.6	21.6
2. どちらかと言えばそう思う	174	32.4	32.4	54.0
3. どちらかと言えばそうは思わない	110	20.5	20.5	74.5
4. その通りではない	101	18.8	18.8	93.3
5. わからない	30	5.6	5.6	98.9
99. 非該当・無回答	6	1.1	1.1	100.0
合計	537	100.0	100.0	

3 開票事務の説明会等が行われていると思いますが、これまで経験した説明会等を振り返って十分な内容だったと思いますか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 十分な内容だった	58	10.8	10.8	10.8
2. どちらかと言えば十分な内容だった	133	24.8	24.8	35.6
3. どちらかと言えば十分な内容ではなかった	97	18.1	18.1	53.6
4. 十分な内容ではなかった	95	17.7	17.7	71.3
5. わからない	140	26.1	26.1	97.4
99. 非該当・無回答	14	2.6	2.6	100.0
合計	537	100.0	100.0	

4 開票事務の説明会等が行われていると思いますが、これまで経験した説明会等を振り返って、説明会等の時間は十分とられていたと思いますか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 十分にとられていた	81	15.1	15.1	15.1
2. どちらかと言えば十分にとられていた	121	22.5	22.5	37.6
3. どちらかと言えば十分にとられてはいなかった	78	14.5	14.5	52.1
4. 十分にとられてはいなかった	97	18.1	18.1	70.2
5. わからない	147	27.4	27.4	97.6
99. 非該当・無回答	13	2.4	2.4	100.0
合計	537	100.0	100.0	

5 「市選管と区選管の一体感が欠けているのではないか」という指摘がありますが、あなたはどのように思われますか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. そう思う	71	13.2	13.2	13.2
2. どちらかと言えばそう思う	70	13.0	13.0	26.3
3. どちらかと言えばそうは思わない	42	7.8	7.8	34.1
4. その通りではない	39	7.3	7.3	41.3
5. わからない	312	58.1	58.1	99.4
99. 非該当・無回答	3	.6	.6	100.0
合計	537	100.0	100.0	

6 「トラブルが生じたときに参考とする全市統一的なマニュアルがあった方がよい」と思われますか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. あった方がよい	353	65.7	65.7	65.7
2. どちらかと言えばあった方がよい	116	21.6	21.6	87.3
3. なくてもよい	19	3.5	3.5	90.9
有効 4. 不要	20	3.7	3.7	94.6
5. わからない	26	4.8	4.8	99.4
99. 非該当・無回答	3	.6	.6	100.0
合計	537	100.0	100.0	

7 今回、選挙事務に携わって、「開票作業は早く終わらせなければならない」というプレッシャーをあなたは感じましたか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. はい	215	40.0	40.0	40.0
2. いいえ	229	42.6	42.6	82.7
有効 3. なんとも言えない	92	17.1	17.1	99.8
99. 非該当・無回答	1	.2	.2	100.0
合計	537	100.0	100.0	

8 昨今、開票時間のスピードを一分一秒単位で競うことを奨励する風潮がありますが、そうした動きに対し、現場に携わる者としてどう感じですか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. あくまでも正確性が優先されるべきで、開票時間を競うことは無意味である	365	68.0	68.0	68.0
2. あくまでも正確性が優先されるべきであるが、開票時間を競うことは有意義である	70	13.0	13.0	81.0
有効 3. 選挙の執行費用の削減の観点からもっと奨励されるべきである	2	.4	.4	81.4
4. 選挙の執行費用の削減の観点から考えると致し方ない	38	7.1	7.1	88.5
5. その他	40	7.4	7.4	95.9
6. わからない	13	2.4	2.4	98.3
99. 非該当・無回答	9	1.7	1.7	100.0
合計	537	100.0	100.0	

9 「開票時間を競う風潮が、高松や仙台での事件の主たる原因ではないか」という見方がありますが、あなたはどう思われますか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. そう思う	137	25.5	25.5	25.5
2. どちらかと言えばそう思う	151	28.1	28.1	53.6
3. どちらかと言えばそうは思わない	69	12.8	12.8	66.5
有効 4. その通りではない	106	19.7	19.7	86.2
5. わからない	65	12.1	12.1	98.3
99. 非該当・無回答	9	1.7	1.7	100.0
合計	537	100.0	100.0	

10 「開票ミスを生じるリスクを減らすため、翌日開票にすべき」という意見に賛成ですか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 賛成	104	19.4	19.4	19.4
2. どちらかと言えば賛成	87	16.2	16.2	35.6
3. どちらかと言えば反対	111	20.7	20.7	56.2
有効 4. 反対	143	26.6	26.6	82.9
5. その他	24	4.5	4.5	87.3
6. わからない	62	11.5	11.5	98.9
99. 非該当・無回答	6	1.1	1.1	100.0
合計	537	100.0	100.0	

11 「職員に負担がかかっているため、開票事務に携わる人員の増員をした方がよい」という意見に賛成ですか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 賛成	123	22.9	22.9	22.9
2. どちらかと言えば賛成	136	25.3	25.3	48.2
3. どちらかと言えば反対	65	12.1	12.1	60.3
有効 4. 反対	61	11.4	11.4	71.7
5. その他	49	9.1	9.1	80.8
6. わからない	96	17.9	17.9	98.7
99. 非該当・無回答	7	1.3	1.3	100.0
合計	537	100.0	100.0	

12 「選挙管理は、派遣やアルバイトを使わず、正規の自治体職員のみで対応すべき」という意見に賛成ですか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. 賛成	65	12.1	12.1	12.1
2. どちらかと言えば賛成	109	20.3	20.3	32.4
3. どちらかと言えば反対	123	22.9	22.9	55.3
4. 反対	151	28.1	28.1	83.4
5. その他	33	6.1	6.1	89.6
6. わからない	53	9.9	9.9	99.4
99. 非該当・無回答	3	.6	.6	100.0
合計	537	100.0	100.0	

13 「現在の仙台市の人事では、開票のノウハウを継承することに支障が出ている」という見方がありますが、あなたはどのように思われますか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. そう思う	108	20.1	20.1	20.1
2. どちらかと言えばそう思う	134	25.0	25.0	45.1
3. どちらかと言えばそうは思わない	59	11.0	11.0	56.1
4. その通りではない	58	10.8	10.8	66.9
5. わからない	175	32.6	32.6	99.4
99. 非該当・無回答	3	.6	.6	100.0
合計	537	100.0	100.0	

14 (期日前投票事務に従事した方のみお答えください)

「期日前投票事務が導入され、通常業務に弊害が出ている」という声を、あなたの周囲で聞いたことがありますか。該当するもの1つに○をつけてください。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1. はい	107	19.9	49.8	49.8
2. いいえ	108	20.1	50.2	100.0
合計	215	40.0	100.0	
欠損値 システム欠損値(非対象者)	322	60.0		
合計	537	100.0		

その他の内容(問8)

翌日の勤務のことを考えることできるだけ、早く終わらせる必要はあると思う

夜間の開票作業は早く終わらせて帰りたい！とっていますので、そのためにも、また今後職員もさらに減っていくことを考えると、効率良い仕組みは考えていった方が良いと思います。

目的を見失った愚かな風潮といえる！

費用や応援の点からはスピードを求められるが、正確を期すためには一定の時間を要するから悩ましい

費用削減の点、有権者へ結果を早くお知らせする点から開票時間はできるだけ短くすることが求められる。そして毎回、機会化(マークシートなど)はできないのかと思うのが一般市民の素朴な疑問であると思う。そういうものに答えられず(できる理由/できない理由)ただ人員を増やしたりすることはいけない。

早く終わると早く帰れるから、正確に早くしたいと思う。

ばかばかしい

どちらも優先・将来されるべきではありますが、スピードを上げることはミスを起こすリスクが高まるということ、認識すべきだと思います。

どちらが優先ではなく、正確性、開票時間とも別々の観点から目的を精査すべきものである。どちらかの精度が落ちることこそが無意味である。

投票日翌日の開票所施設の行事日程、通常業務への影響を考えると早く終了させたいとの思いは理解できる。

投票から開票と連続勤務のため、早く帰りたいと思うので、開票時間のスピードを上げるのは個人的に賛成だが、正確性は最優先されるべき

出口調査等で結果が出てしまう現状がおかしい。止めるべき。

その様な風潮があることをこのアンケートで初めて知った。

正確性を優先すべきであるが、競うということではなく、各人の開票時間を短くするための努力は必要

正確性は優先すべき事項ですが、何かと待ち時間が多いことも事実です。従事している人達が「早く帰りたい」ではなく、「漠然と待たされている」という意味から、時間短縮は有意義だと思います。

正確性は優先されるべきだが、選挙の執行費用の削減も大事である

正確性はもちろん大切だが、早く帰りたい意識がある。

正確性と開票の時間は相反するもの。正確性優先ならもっと時間が必要。

正確性が優先されるべきであるが、(開票時間を競う必要はないが)ある程度の目標時間(目安)を設けることは必要だと思う。

正確性が優先されるべきである。開票時間についてはマスコミの選挙速報が風潮の原因であると思う。意味の有無をここで問うことこそ無意味である。

正確性が優先され、執行費用の削減を優先される競うことに意味があるのかは分からない。

正確性が必要だと思うけど、開票速報等で早く知りたい人達のために急ぐことも必要であると思うし、人件費削減を考えないといけないと思う。

正確性+費用削減

正確性、時間、費用 全てを意識して行うべき。どれかが優先されるという考え方が×

正確さが第一だが、ある程度の緊張感の中でスピードアップをはかるのは大切と思う

スピードを競う必要はないが、無制限に時間をかけるのは適切ではない。費用の問題、体力の問題は考慮すべきである。

時間を競う意識はないが、早く帰りたいと思う。それと集計で時間がかかり、何もしないで待っている人と時間が多い

作業のムダを見直すこと自体は正確性の向上にもつながるが、開票時間の短縮のみが自己目的化しては意味がない

決められている通りにするしかない

競う必要はないと思うが、ダラダラ、話しながらはよくないと感じた。(←特に学生 アルバイト)時間に対して、人によりこなす作業量の差が多く、それに対するの注意をする者もいなかった。集計的に有効票、白票が間違っているものもあった。正確性が大事であることは間違いないが、それ以前に責任感がないのではないか。だからミスするのはないか。

管理する側が時間を競うことはしょうがないと思うが、従事者に「一秒でも早く」というプレッシャーをかけんとするかのような今の雰囲気はおかしいと思う。

開票の開始時間、拘束される時間が翌日までとなっていることが問題である、疲労。

開票に競うということには違和感

開票時間を競うことは気にはしていないが、従事する立場では早く終わらせたいということはある。

遅れた時にマスコミが選挙ミスとして報道する事に問題がある。

上から急かされているのだから致し方ない

あくまでも正確性が優先されるべきであるが、選挙の執行費用の削減の観点から考えると、スピードもおろそかにできない。

あくまでも正確性が優先されるが、効率も考慮されるべき

あくまでも正確性が優先されるべきであり、開票時間を競う必要はないが、極力時間短縮に努めるべき

2に近いが、競うことにそうそう意義が有るとは思わない

その他の内容(問10)

リスク削減にはつながらない

翌日も仕事なので早く終わらせたいという気持ちにはなるが、仙台のみ翌日開票というのは現実的ではない

翌日は遅いのではないか

翌日にしてもミスは生じると思う

翌日開票してもリスクは減らない

翌日開票してもミスはおきる

有権者には結果を早く公表すべき

メリット・デメリットや条件を精査して決める問題 簡単に賛否を決められるものではない

ミスOにするため1週間後にするのか、月曜日の通常業務はどうするのか

平日になると、携われる人員が限られると思う。

投票日の投票終了時刻を18時に繰り上げる。期日前投票が十分浸透したから。

投票時間を17時までとする

投票時間の短縮(7:00~18:00)

投票時間短縮して開票時間に余裕を。期日前投票が定着してきているので。

投開票の従事者を分けた上で、開始時間を遅らせ、時間の余裕を持たせるべき

電子投票も考えられる

そういう問題ではない

全選挙区で行うならばそれでも可

正確性が優先。その結果、翌日になるのは仕方なし。

空白時間にどんなミスがあるのかわからないので、すぐにやった方がよい。

期日前投票があるのだから当日18時まで投票に戻すほうがよい。

開票作業によると考える。

開始時間を少し遅らせる

いつやってもリスクは同じ

「当日」「翌日」など単純な話ではないと思う。

その他の内容(問11)

量より質、これまでも数だけでその結果が今回の数合わせとなった

負担に感じたことはない

負担でなくて仕事。意識の問題

負担がかかっているように感じた

不正処理について開票事務に焦点が当たっていますが、本質は投票事務の集計に問題がある気がする

人を増やしてもそこまでかわらない。改革が必要なのは、選挙系の業務。

必要人員を精査

人数よりも人間の質!?かと思えます。

人数の問題ではないと思う

人数ではない

人数が多くても支持がよく分からない人が増える気がする。現時点で少し現場が混乱していたと思う。

どちらでもない

投票録の集計事務の職員増でよろしいのでは？現場はいまの状況で良いと思います。

投票事務携わる人員の増員をした方がよい。開票は投票録がすべてだから。

電子投票の導入

手順やスペースの問題もあるので人数不足の解消のみで片付くとは思えない

適切な人員と思う

適正数である

定期的なものが重なる年度は人事を考えて欲しい。

単に人員増では意味がない

増減員により適正な人員を模索すべき

増員の効果は小さいのではないか

選挙事務員がばたばたしている気がする。開票事務に来ている人員は十分な気がする。

人員を増やしても今回の事件が解決するわけではないような気がする

人員を増やしても係の業務内容によって負担はかわらない

人員の問題ではない

人員の数よりも質が問題だと思います。無責任・無自覚なアルバイトを増やしても統括する職員が苦勞するだけのため。

人員的な不足があるとは思わない

人員体制よりも電子投票制度の確立について国に対し要望すべきと思う

人員数よりも、コアな部分に携わる人を固定するか、必ず応援勤務等と呼ぶ。

職種による

職員は増員、アルバイトは増員しなくてよい

職員であれば賛成、バイトなら反対

集計作業の人員は増やすべき

作業内容によりかわる

今回以上に人員が必要とは思えない

現状でも充分では

現在の場所で人員が増えても効率が上がるとは思えない。

経験者が増えないと無意味ではないか

開票日までの準備段階からの職員の負担が大きく、開票日までに疲労が蓄積しているので、投票日までの準備に携わる人員の増員をした方がよいと思う。

開票の説明会と事前練習すれば良い

開票ではなく選挙係を増員した方がよい

開票事務だけでなく投票事務も増員すべきである→特に今回の選挙の場合、交付係への負担が大きいと思う。

開票時間を早くするなら賛成

開票作業によると考える。

開票経験豊富な一部の職員に責任を負わせ過ぎのよう思う。その点を見直し、改善するための増員ならば賛成です。

エキスパートを増やすべき

アルバイトの比率を下げる(人員はそのまま 増員しない)

その他の内容(問12)

理想だと思うが、現実的には無理がある

もはや無理

無理、難しいことだと思います。係ごとに業務をよく把握した担当者を置くことで解決することが多いと思う。

ミスとかの面ではどちらでもいいと思う(正規だからってミスがないわけじゃない)。お金を考えたらバイトの方がいいのでは。

比率を見直すべきだと思う

人数や職種の問題ではない

投票用紙交付であれば職員以外も可。開票は氏名点検まであれば職員以外も可。

投票事務はアルバイト等の従事があってもいいが開票事務は自治体職員で対応すべき

単純開票はアルバイトで十分

それが可能なら賛成だが、ムリだと思う(時間的、人的に)

選挙管理は職員で、開票事務はアルバイトだけでいいと思う

正規の公務員(国、県)での対応も検討すべき

すべてとはいわないが、重要な箇所は投票も含めて全て職員で対応すべき

職務内容を理解して行うことが大事。職員の身分が問題ではない。

実行は難しいのでは

自治体職員の割合を増やすべき

自治体職員、アルバイトの違いはない。詳しい説明をし、法に基づく重要な仕事であることを認識させることが大事。

賛成だが、実質的には無理

今回の問題は、アルバイトor正職員の能力の差は一切関係ないと思うので、この質問は適切ではないと思う。

現状無理なのは

現実的に無理です

経費削減に逆行するのでは？

きちんとやればよい。正規職員ならきちんとやれるわけではない。

簡単なものに関してはアルバイトでもいいと思う。

開票よりも投票事務従事者について、より強く感じられる

開票は開票分類限定なので問題ないと思う。投票(特に交付)にアルバイトを充てるのには反対

イレギュラーな場合にも対応できなければ、職員のみであっても選挙管理は困難と思う

アルバイトを採用することを賛成であるが、遅刻・私語・ダラダラとするアルバイトもいた。アルバイトの見極めも大事で配置バランス、指導も必要だと思う。

アルバイトの人数が多すぎと思う

アルバイトで対応できることは、アルバイトの使用が妥当である

NPOを利用する手法もあると思う

4 投票立会人アンケート

(1) 投票立会人アンケート様式

投票立会人従事者アンケート

1 投票立会人として従事するにあたって、職務内容について十分な説明がありましたか。
該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 十分な説明があった | 4. 十分な説明はなかった |
| 2. どちらかと言えば十分な説明があった | 5. 説明はなかった |
| 3. どちらかと言えば十分な説明はなかった | |

2 投票立会人の任務は、投票が公正に行われるよう監視することですが、現在の投票所の事務体制において、任務が十分に遂行できていると思いますか。該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 十分に遂行できている | 4. 十分に遂行できていない |
| 2. どちらかと言えば十分に遂行できている | 5. わからない |
| 3. どちらかと言えば十分に遂行できていない | |

3 2の設問において3, 4と答えた方にお聞きします。「十分に遂行できていない」と思われる点はどのような事柄ですか。簡潔にご記入ください。

()

4 その他、投票所の体制等の改善等について、ご意見があれば、簡潔にご記入ください。

()

質問は以上です。質問にお答えいただき、ありがとうございました。

4 投票立会人アンケート
 (2) 投票立会人アンケート集計結果

投票立会人従事者アンケート集計結果

2015年4月

	回答数	対象者数	割合
青葉区	79	91	86.81%
宮城野区	42	52	80.77%
若林区	33	35	94.29%
太白区	50	52	96.15%
泉区	49	62	79.03%
合計	253	292	86.64%

1. 投票立会人として従事するにあたって、職務内容について十分な説明がありましたか。該当するもの1つに○をつけて下さい。

	回答数	割合
1. 十分な説明あり	91	35.97%
2. どちらかと言えば十分な説明あり	87	34.39%
3. どちらかと言えば十分な説明なし	45	17.79%
4. 十分な説明なし	21	8.30%
5. 説明なし	8	3.16%
回答なし	1	0.40%
合計	253	100.00%

2. 投票立会人の任務は、投票が公正に行われるよう監視することですが、現在の投票所の事務体制において、任務が十分に遂行できていると思いますか。該当するもの1つに○をつけて下さい。

	回答数	割合
1. 十分に遂行できている	105	41.50%
2. どちらかと言えば十分に遂行できている	101	39.92%
3. どちらかと言えば十分に遂行できていない	24	9.49%
4. 十分に遂行できていない	9	3.56%
5. わからない	14	5.53%
合計	253	100.00%

3. 2の設問において3、4と答えた方にお聞きします。「十分に遂行できていない」と思われる点はどうのような事柄ですか。簡潔にご記入ください。

- ・業務範囲、重点ポイント等が説明不足 文書のみである
- ・投票開始前に市の責任者の留意事項の説明が必要
- ・受付の一番初めにはアルバイトではなく、職員を置くべき
- ・他部局(課)から応援体制で立会人に従事されている
- ・白票投票を行う人への対応について指導不足
- ・立会人の場所が出口近くであるため、投票行動が確認しにくい
よって投票用紙を持ち帰る際に声を掛けても間に合わない
- ・毎時行う集計を丁寧に行う → 毎回慣れた同じ人が1人で行っている
- ・複数なので正確なチェックが必要
- ・集計表の複雑さに問題がある
- ・投票用紙の扱い方が雑 チェック回数等を増やす
- ・何もやる事がなかった。必要性に疑問。
- ・最終集計時にバタバタしてゆとりがない状態
- ・期日前投票の枚数確認等の場合、立会人への提示、確認が必要
- ・監視というより見守りという認識の甘さを感じる
- ・期日前投票時、「代理投票」「点字投票」の際、職員を呼びに行くのに問題あり

日常業務が多忙な為、その都度呼びに行く事が苦痛

・席を離れる際に誰に断れば良いかわからない

4. その他、投票所の体制等の改善等について、ご意見があれば、簡潔にご記入ください。

- ・高齢者に対する投票箱への誘導する職員がいると良い
- ・投票所内で2箇所以上投票する場合 → 投票用紙と同じ色の投票箱
(高齢者への説明がしやすい) (誤投函が多い)
- ・立会人の負担大(終始注意する)
- ・投票用紙の配色もわかりづらい
- ・比例区と国民審査の投票箱の位置が近すぎる
- ・一連の順路を迷わないよう、配置に工夫する。
- ・投票券を渡す場所が狭く混雑した 会場設置の問題
- ・投票箱の投入口が狭いので入れづらいとの事
- ・国民審査についてわからない人が多かった
- ・白紙でも良いではなく、口頭での説明も必要
(持ち帰った人が何人もいたが注意しても無視された)
- ・比例、国民審査を同時に配布しない(1枚ずつ渡す)
- ・棄権について広報が必要と言える
- ・必要でないと言われ、配布していない
- ・選管に枚数報告するべき
- ・期日前投票では、投票所と事務局が離れていて、何をやっているのか不明
- ・期日前投票の終了時刻を短縮すべき
- ・選挙人の挨拶は出来るだけ行すが、良いのか未だにわからない
- ・夏季には害虫対策、冬季には暖房対策を徹底して欲しい
- ・午前・午後に立会時間を分けた方が意識が持続できる (人件費等は時給制で良い)
- ・飲酒の状態で投票に来て難癖をつけられるといつも不安
- ・投票所の終了時に後片付けは必要か説明してほしい
- ・投票立会人を増員希望
- ・立会人が開票場所まで投票箱を持ち込む
- ・食事の配慮を考えてほしい
- ・午前と午後では職務内容の差が激しい
 午前みの場合 → 午後の職務が不明
 後半みの場合 → 終了整備・マイカーでの開票所への持ち込みなど
- ・管理者も含めて研修を望む
- ・地元の間では私語が多くなる。マンネリ化をなくすべき
- ・アルバイトの服装・態度に問題あり
- ・指導 業務の重要性を認識した行動を取ってもらう
- ・もっと厳しく勉強会を行うべき
- ・選挙会場の投票事務にも従事者の名札が必要
- ・学生アルバイトではなく、選挙管理人を増加してほしい
- ・投票時間を短縮し、開票時間を十分にとり余裕を持つ
- ・選挙管理委員会から必ず1名派遣すべき
- ・慣れた人がいないと成り立たないシステムは改善すべき
- ・投票から開票までの職員の負担が大きすぎる
- ・投票用紙の持ち帰りする者を行政として指導できるよう検討してほしい
- ・残り1時間ぐらいの集計では既に数が合わなくなって慌ただしく動いている
- ・毎回職員も変わるので説明してほしい。
- ・体育館よりコミュニティーセンターなどを利用してほしい
- ・出入口に大きな看板を設置 矢印も必要
- ・投票箱の所に必ず1人配置する
- ・投票箱を開票所に届けるのを時間を競ってる感じがある為、集計が雑
- ・開票場では各区で速さを競うような傾向がみられる
- ・投票箱が立会人の席から目視出来る位置に移動したので良かった
- ・トイレ休憩のみだったのが5～10分休憩になった
- ・次回から断ろうと思う

- ・今回の不適正処理を立会人に問うのはどうかと思う
- ・アンケートを実施したからには、立会人への説明・発表をしてほしい
- ・〇〇投票所は投票率が悪いので〇〇市民センター1ヶ所にしてほしい
- ・ロープ等の規制が必要

5 再発防止委員会開催日と提出資料

回	開催日	審議事項と提出資料	場所
1	平成 27 年 2 月 4 日(水)	資料 1-1 青葉区開票所における衆議院小選挙区開票の流れ 資料 1-2 青葉区開票所における国民審査開票の流れ 資料 2-1 青葉区開票所における衆議院小選挙区庶務係集計の流れ 資料 2-2 青葉区開票所における国民審査庶務係集計の流れ 資料 3 青葉区開票人員体制 資料 4 過去 10 年調査の結果 資料 5 平成 8 年太白区の投票録記載ミス 資料 6 国民審査投票用紙交付に係る問題点	市役所 第 6 委員会室
2	平成 27 年 2 月 26 日(木)	(1) 市選挙管理委員会・区選挙管理委員会の関係について (2) 集計システムの改良について 資料 投・開票集計システムの改良について (3) 「全国市区町村選挙管理委員会事務局調査」についての報告 資料 選挙時報平成 26 年 12 月号記事 (4) 職員アンケート調査の実施について (5) 再発防止策の検討 資料 再発防止策に係る検討材料	第 2 委員会室
3	平成 27 年 3 月 9 日(月)	(1) 投開票事務における改善方策について ①庶務係集計事務の課題と改善方策（青葉区開票所の不適正な集計に関して） ②投票事務の課題と改善方策（投票者数のより正確な把握の観点から）	第 2 委員会室

		(2) 再発防止策の検討 資料 再発防止策に係る検討資料	
4	平成27年3月26日(木)	(1) 提言書の骨子(案)について 資料 再発防止策の骨子案 (2) 先行して取組む改善策について ①区選挙係職員の増員 ②新規採用職員研修 ③集計システムの入出力画面等の改善 (3) 従事職員アンケート結果について	第4委員会室
5	平成27年4月24日(金)	(1) 青葉区開票所庶務係の人数の訂正について (2) 過去10年に執行された選挙の執行状況の追加調査の結果について (3) 投票立会人へのアンケートの結果について 【不適正な開票事務に係る再発防止策のための提言について】	第2委員会室

6 再発防止委員会設置要綱

仙台市選挙事務不適正処理再発防止委員会要綱

(平成 27 年 2 月 3 日, 仙台市選挙管理委員会議決)

(設 置)

第 1 条 平成 26 年 12 月 14 日に執行された, 第 47 回衆議院議員総選挙及び第 23 回最高裁判所裁判官国民審査の, 仙台市青葉区開票区開票所において発生した選挙事務に係る不適正処理に関し, 公正中立かつ客観的な観点から対象事件の再発防止策の取りまとめを行い, もって選挙事務の適正化を図るため, 仙台市選挙管理委員会(以下「選挙管理委員会」という。)に, 仙台市選挙事務不適正処理再発防止委員会(以下「再発防止委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第 2 条 再発防止委員会は, 選挙管理委員会の諮問に応じ, 再発防止及び選挙事務の適正化に係る提言を行う。

(組 織)

第 3 条 再発防止委員会は 3 人以内で組織する。

2 委員は, 公正中立かつ客観的に前条に掲げる事項を行うことができる学識経験等を有する者のうちから, 選挙管理委員会が委嘱する。

(委 員 長)

第 4 条 再発防止委員会に委員長を置き, 委員の互選により定める。

2 委員長は, 委員会を総理し, 再発防止委員会を代表する。

(会 議)

第 5 条 再発防止委員会の会議は, 委員長が招集し, 委員長は, 会議の議長となる。

2 再発防止委員会の会議は, 委員の半数以上が出席しなければ, 開くことができない。

3 再発防止委員会の議事は, 出席委員の過半数で決し, 可否同数のときは, 委員長の決

するところによる。

- 4 再発防止委員会の会議は、公開する。ただし、再発防止委員会が必要と認めるときは、公開しないことができる。

(庶務)

第6条 再発防止委員会の庶務は、選挙管理委員会事務局において行う。

(委任)

第7条 この要綱の施行に関し必要な事項は、選挙管理委員会が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成27年2月4日から施行する。

(招集の特例)

- 2 この要綱による最初の再発防止委員会の会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、選挙管理委員会が招集する。